

地域包括ケア病棟（ひまわり病棟）をご紹介します

地域包括ケア病棟とは？ “ときどき入院、ほぼ住宅”

「地域包括ケア病棟」とは、急性期治療を経過し、病状が安定した患者様に対して、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病棟です。また、在宅や施設での安定した療養生活を支援する役割も担っています。

◆入院が適している患者様は？

- ・急性期の入院診療（肺炎・骨折・手術など）が終了後も退院を目指したリハビリテーションが必要な方
- ・自宅や施設で療養中に肺炎や発熱、ケガなどを発症して、重症度の観点から急性期病棟よりもリハビリテーションやケアを重視した入院加療が望ましい方
- ・自宅や施設で療養中の患者さんで誤嚥予防や日常生活動作（ADL）向上のためのリハビリテーションが必要な方



◆入院費について

地域包括ケア病棟に入院された場合、入院費の計算方法が通常とは異なり「地域包括ケア病棟入院料1」を算定いたします。入院費は定額で、リハビリテーション・投薬料・注射料・処置料・検査料・入院基本料・画像診断料等のほとんどの費用が含まれています。

治療内容によっては、一般病棟より自己負担金が増額する場合がありますが、月の医療費の負担条件が定められていますので、一般病棟の場合と負担上限は変わりません。（75歳以上ではほとんどの場合増額はありませぬ）

◆入院に対する留意点

一般的な血液検査・レントゲン検査・投薬治療は可能ですが、一般病棟で行うような高額な医薬品の投与や特殊な検査・手術などには対応できません。病状の変化により主治医が集中的な治療が必要と判断すれば、一般病棟に転棟(変更)する場合があります。

入院のお問い合わせ・お申込みは北福島医療センター 医療連携室へご連絡下さい。

024-551-0101 (FAX 024-551-0104)

CONTENTS

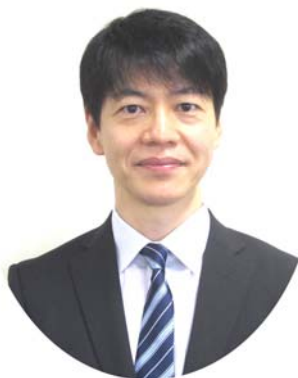


9月21日 敬老の日
お赤飯、銀たらの照り
焼きなどの『寿膳』を
提供しました。

地域包括ケア病棟のご紹介	1
新任医師のご紹介	2
第86回地域けんこう講座のご報告	2
病棟で敬老会を開催	2
救急の日のイベント開催	3
伊達警察署の院内広報活動	3
お知らせ	4

新任医師を紹介します

10月1日より、循環器科に生天目安英医師が着任しました



なまため やすひで

生天目 安英 医師

10月1日より循環器科に着任いたしました、生天目安英と申します。生まれも育ちも福島市で、眼科の山田文子先生とは中学校の同級生であります。平成6年に東京医科大学を卒業後、同大学の循環器内科科の医局に入局し、関連病院にて修練を積んでまいりました。

循環器科の分野で、特に不整脈のカテーテル治療や心筋梗塞や狭心症のカテーテル治療に時間を注いでまいりました。北福島医療センターでも少しずつ症例を重ねていき、地域の人々の健康につながればいいなと考えております。寿命が延びても胸や呼吸が苦しくては健康とは言えません。高齢化になり、年齢ばかりでなく、心臓も血管も老化をします。寿命を延ばすことはできませんが、治療によって、より快適に過ごせるようになる可能性がこの分野にはあるのです。微力ですが皆様のお力を借りて精一杯頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。

第86回地域けんこう講座を開催致しました。

9月26日（土）、北福島医療センターオーチャードホールに於いて、第86回地域けんこう講座を開催致しました。今回は、「**家庭でできる“感染対策”**」と題して、北福島医療センター 感染管理認定看護師 飯沼範子 副看護師長と感染管理認定看護師 渡辺あけみ看護部長がお話いたしました。前半に「インフルエンザ」、後半に「ノロウイルス」についてお話しし、家庭で作れる消毒薬の作り方や汚れた衣類やシーツなどの処理方法などの実践もあり、参加された方からは「消毒薬の仕方や効力等が分かり、とても参考になりました」、「手洗いやうがいの大切さを改めて感じました」などの感想が寄せられました。



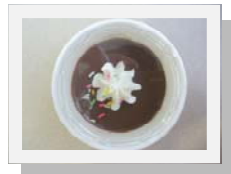
最後に「**予防の基本は、手洗いやマスクであるが、体の免疫力を高めるためには、睡眠を十分にとり、食事に気を付けることが一番大切です。**」と呼びかけ、講演が終了致しました。



病棟にて敬老会が行われました

9月17日に3階あすなる・ひまわり病棟の食堂において敬老会が行われました。

職員が所属する日本舞踊のグループの方が踊りを披露して下さり、しっとりとした舞に患者様全員見とれておりました。鑑賞後は、栄養士手作りのおやつを全員でいただき、楽しいひと時を過ごしました。



* 栄養士手作りおやつのチョコプリンを皆さんでおいしく頂きました *



救急の日のイベントが開催されました

9月9日の『救急の日』の日を含む1週間は、全国で『救急医療週間』として様々なイベントが開催されます。

北福島医療センターでは、伊達中央消防署西分署の消防隊員の皆さんが、『救急の日』のイベントを実施しました。

オーチャードホールでは、AED（自動体外式除細動器）の使用方法の実技指導が行われました。病院に訪れた方が実際にAEDを使い心肺蘇生法を学びました。



救急車の中って
こんなにふう
になってるんだ

正面玄関に救急車が展示され、北福島医療センター附属保育所わんぱくらんどの子ども達も、車内の見学を兼ねて乗ることができ、大変喜んだ様子でした。



伊達警察署の署員の方が院内で広報活動を行いました

9月15日、オーチャードホールで、伊達警察署の署員が広報活動を行い、16日の民友新聞に掲載されました。

「事件、事故に注意を」

伊達署 高齢者に呼び掛け

伊達署は15日、伊達市の北福島医療センターで広報活動を行い、事件、事故防止を訴えた。

お年寄りが交通事故や詐欺被害に遭うのを防ぐよう実施。同署員約10人が参加した。

署員たちは待合室などを訪れ、高齢者になりすまし詐欺の「たましのキーワード」を記したチラシや夜光反射材を配り、事件、事故に遭わないよう呼び掛けた。



事件、事故防止を呼び掛ける署員

10月23日ふるさと会館で開催

公益財団法人 仁泉会のメセナとして活動しているNPO法人ターナー会では、10月23日に市内のふるさと会館で「ラテンとジャズの饗宴」を開催します。

海外で活躍されているピアニストで作曲、編曲家の木住野佳子さんとフルーティスト赤木りえさんが出演します。

また、地元伊達中学校の吹奏楽部の皆さんも共演します。

入場には整理券が必要です。10月10日までにはがきかファックスでお申込み下さい。

【はがき】

〒960-0686 伊達市保原町竹内町58

NPO法人ターナー会 宛

【FAX】024 (575) 3602 まで

木住野佳子 (ピアニスト・作曲家・編曲家)

Yoshiko Kishino

ラテンとジャズの饗宴

with Special Collaboration 伊達市立伊達中学校吹奏楽部

Rie Akagi

平成27年 10/23 (金) 18:00開場・18:30開演

会場 ふるさと会館MDDホール (伊達市保原町)

主催 特定非営利活動法人ターナー会 共催 伊達市教育委員会

お知らせ

- 伊達市の胃がん検診・子宮頸がん・乳がん検診の予約を受け付けています。
子宮頸がん:月・水・金(第2・4) 乳がん:月・水・金 受付時間13:30~15:30
お電話でご予約下さい。 予防健診センター TEL 024-551-0109

<保原中央クリニックでは>

- 整形外科では、月曜日から金曜日の午後の診察を行っています。
受付時間 13:30~16:30是非ご利用ください。
- ふれあいの日 10月13日(火) 10:00~12:00
『カラーゴムで作るくるりんブレスレット』
- 糖尿病教室 10月16日(金) 10:30~11:30
『フットケア』 日本糖尿病療養指導士がお話しします。



●経営理念●

笑顔を咲かそう。

豊かな「人間性」と、高い「専門性」で、
お客様と職員の「幸せ」という花を咲かそう。

●ブランドメッセージ●

皆様とともに

「仁泉会」は、多様な医療・介護施設を擁し、
お客様の誕生から晩年までをサポートしている「公益財団法人」です。
医療・介護分野としては、福島県第一号の認定であり、
「地域への貢献」が評価され、信頼されている証です。
私達は「豊かな人間性」と「高度な専門性」をさらに追求し、
すべては、皆様の健康と幸せを創造するために、努力し続けます。

北福島医療センター 理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院を目指します。

北福島医療センター 「リエゾン」編集係
TEL 551-0551 FAX 551-0808

E-mail jmo@jinsenkai.or.jp
URL http://www.jinsenkai.or.jp